



**evolution wireless G4**

**500 P シリーズ**

取扱説明書



# 目次

ew 500 P G4 製品セット一覧 .....	6
<b>EK 500 G4 のセットアップ</b> .....	9
バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し .....	9
バッテリー残量 .....	10
ヘッドホンを EK 500 G4 に接続 .....	11
ダイバーシティ受信機をカメラに取り付ける .....	12
ダイバーシティ受信機をカメラに接続する .....	14
<b>SKM 500 G4 のセットアップ</b> .....	15
バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し .....	15
バッテリー残量 .....	16
マイクモジュールの交換 .....	17
<b>SK 500 G4 のセットアップ</b> .....	18
バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し .....	18
バッテリー残量 .....	19
マイクを SK 500 G4 に接続 .....	20
SK 500 G4 に楽器やラインソースを接続する .....	21
ボディバック型送信機を衣服に装着する .....	22
<b>SKP 500 G4 のセットアップ</b> .....	23
バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し .....	23
バッテリー残量 .....	24
プラグオントランスミッターをマイクに付ける .....	25
<b>EK 500 G4 の使用</b> .....	26
EK 500 G4 各部の名称 .....	26
EK 500 G4 電源のオン / オフ .....	27
<b>EK 500 G4 操作方法</b> .....	28
<b>ディスプレイ概要</b> .....	29
<b>メニューの概要</b> .....	31
Sync メニュー .....	32
Phones Volume メニュー .....	33
Squelch メニュー .....	34
Easy Setup メニュー .....	36
Frequency Preset メニュー .....	37
Name メニュー .....	38
AF Out メニュー .....	39
Auto Lock メニュー .....	40
Advanced メニュー .....	42
Advanced -> Tune メニュー .....	42
Advanced-> Sync Settings メニュー .....	43
Advanced -> Pilot Tone メニュー .....	43
Advanced -> LCD Contrast メニュー .....	44
Advanced -> Reset メニュー .....	44

Advanced -> Software Revision メニュー .....	44
<b>SKM 500 G4 の使用</b> .....	45
SKM 500 G4 各部の名称 .....	45
SKM 500 G4 電源のオン/オフ.....	46
ハンドヘルド送信機の AF ミュート .....	47
ハンドヘルド送信機の RF ミュート .....	47
<b>ディスプレイ概要</b> .....	48
<b>SKM 500 G4 操作方法</b> .....	50
<b>メニュー概要</b> .....	50
Sensitivity メニュー.....	50
Frequency Preset メニュー.....	51
Name メニュー .....	51
Auto Lock メニュー.....	52
Advanced -> Tune メニュー.....	53
Advanced -> Pilot Tone メニュー.....	54
Advanced -> LCD Contrast メニュー.....	55
Advanced -> Reset メニュー.....	55
Advanced -> Software Revision メニュー .....	55
<b>SK 500 G4 の使用</b> .....	56
SK 500 G4 各部の名称 .....	56
SK 500 G4 電源のオン/オフ .....	57
ボディパック型送信機の AF ミュート .....	58
ボディパック送信機の RF ミュート .....	59
<b>ディスプレイ概要</b> .....	61
<b>SK 500 G4 操作方法</b> .....	63
<b>メニュー概要</b> .....	63
Sensitivity メニュー.....	63
Frequency Preset メニュー.....	64
Name メニュー .....	64
Auto Lock メニュー.....	65
Advanced -> Tune メニュー.....	66
Advanced -> Mute Mode メニュー.....	67
Advanced -> Pilot Tone メニュー.....	68
Advanced -> LCD Contrast メニュー.....	68
Advanced -> Reset メニュー.....	69
Advanced -> Software Revision メニュー .....	69
<b>SKP 500 G4 の使用</b> .....	70
SKP 500 G4 各部の名称 .....	70
SKP 500 G4 電源のオン/オフ .....	71
プラグオン送信機の AF ミュート .....	72
プラグオン送信機の RF ミュート .....	73
<b>ディスプレイ概要</b> .....	75
<b>SKP 500 G4 操作方法</b> .....	77

メニュー概要 .....	77
Sensitivity メニュー .....	77
Frequency Preset メニュー .....	78
Name メニュー .....	78
Auto Lock メニュー .....	79
Advanced -> Tune メニュー .....	80
Advanced -> Mute Mode メニュー .....	81
Advanced -> Phantom Power 48 V メニュー .....	82
Advanced -> Pilot Tone メニュー .....	82
Advanced -> LCD Contrast メニュー .....	82
Advanced -> Reset メニュー .....	83
Advanced -> Software Revision メニュー .....	83
プリセットバンク周波数一覧 .....	84
仕様 .....	86
EK 500 G4 .....	86
SKM 500 G4 .....	88
SK 500 G4 .....	90
SKP 500 G4 .....	92
ピン割り当て .....	94
クリーニングとメンテナンス .....	96

## ew 500 P G4 製品セット一覧

### EK 500 G4 ダイバーシティ受信機



EK 500 G4 に関する詳細は  
以下のセクションからご覧になれます。

- セットアップ：「EK 500 G4 のセットアップ」
- 操作方法：「EK 500 G4 の使用」
- 仕様：「EK 500 G4」

### SK 500 G4 ボディパック型送信機



SK 500 G4 に関する詳細は  
以下のセクションからご覧になれます。

- セットアップ：「SK 500 G4 のセットアップ」
- 操作方法：「SK 500 G4 の使用」
- 仕様：「SK 500 G4」

## SKM 500 G4 ハンドヘルドトランスミッター

SKM 500 G4 に関する詳細は  
以下のセクションからご覧になれます。

- セットアップ：「SKM 500 G4 のセットアップ」
- 操作方法：「SKM 500 G4 の使用」
- 仕様：「SKM 500 G4」



## SKP 500 G4 プラグオントランスミッター

SKP 500 G4 に関する詳細は  
以下のセクションからご覧になれます。

- セットアップ：「SKP 500 G4 のセットアップ」
- 操作方法：「SKP 500 G4 の使用」
- 仕様：「SKP 500 G4」



## 接続ケーブル

カメラを EK 500 G4 ダイバーシティ受信機に接続するには、次のケーブルを使用します。

### • CL 1

出力用ケーブル(スクリューロック付き 3.5mm ジャック -3.5mm ジャック)

製品番号 005022



### • CL 500

出力用ケーブル(スクリューロック付き 3.5mm ジャック -XLR)

製品番号 554387



## カメラ取り付け用アクセサリ

### CA 2 カメラアダプター

100 P G4 および ew 500 P G4 シリーズベルトバック受信機用ホットシュー付きカメラアダプター

製品番号 009986



# プリセットバンク周波数一覧

evolution wireless G4 プリセット周波数テーブル

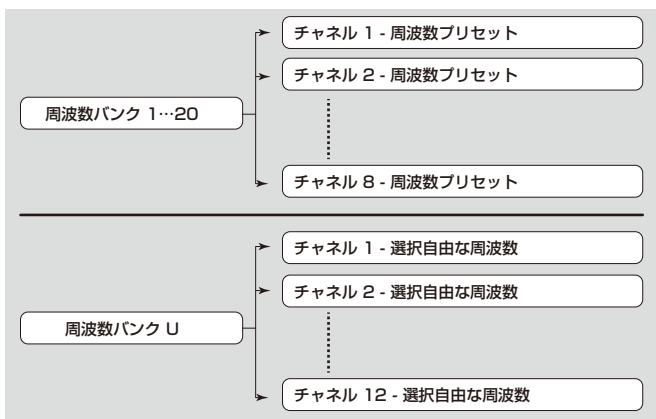
Channel	Bank 1
1	806.125 B11

周波数 8型チャネル呼称

Channel	Bank 1	Bank 2	Bank 3	Bank 4	Bank 5	Bank 6	Bank 7	Bank 8	Bank 9	Bank 10
1	806.125 B11	806.375 B12	806.500 B22	806.125 B11	806.250 B21	806.250 B21	806.625 B31	806.125 B11	806.125 B11	806.125 B11
2	806.875 B32	806.750 B41	807.000 B23	806.500 B22	806.625 B31	806.625 B31	807.125 B13	806.750 B41	806.750 B41	807.250 B61
3	807.375 B33	807.250 B61	807.750 B14	807.000 B23	807.125 B13	807.625 B51	807.875 B24	807.250 B61	808.000 B43	808.250 B34
4	807.750 B14	807.625 B51	808.375 B53	807.750 B14	807.875 B24	808.000 B43	808.500 B25	808.000 B43	808.375 B53	808.625 B35
5	808.375 B53	808.250 B34	808.875 B26	808.250 B34	808.375 B53	808.750 B54	809.000 B15	808.625 B35	809.125 B44	809.125 B44
6	808.750 B54	808.625 B35	809.250 B36	808.625 B35	808.750 B54	809.250 B36	809.375 B45	809.125 B44	809.500 B16	809.500 B16
7	809.250 B36	809.125 B44		809.250 B36	809.375 B45	809.625 B55		809.500 B16		
8	809.625 B55	809.500 B16		809.625 B55	809.750 B46					
9										
10										
11										
12										

Channel	Bank 11	Bank 12	Bank 13	Bank 14	Bank 15	Bank 16	Bank 17	Bank 18	Bank 19	Bank 20
1	806.500 B22	806.125 B11	806.125 B11	806.500 B22	806.125 B11	806.125 B11	806.250 B21	806.375 B12	806.125 B11	806.250 B21
2	807.000 B23	806.500 B22	806.500 B22	807.000 B23	806.500 B22	806.500 B22	806.625 B31	806.750 B41	806.500 B22	806.750 B41
3	807.750 B14	807.000 B23	807.500 B42	807.750 B14	807.000 B23	807.000 B23	807.125 B13	807.750 B14	807.000 B23	807.125 B13
4	808.375 B53	807.750 B14	807.875 B24	808.625 B35	807.750 B14	807.750 B14	807.875 B24	808.125 B52	807.750 B14	807.750 B14
5	808.875 B26	808.250 B34	808.625 B35	809.625 B55	808.250 B34	808.750 B54	808.875 B26	808.875 B26	808.750 B54	808.500 B25
6	809.250 B36	806.625 B35	809.125 B44		808.625 B35	809.125 B44	809.250 B36	809.375 B45	809.125 B44	808.875 B26
7		809.250 B36	809.500 B16		809.250 B36	809.625 B55	809.750 B46	809.750 B46	809.625 B55	809.375 B45
8		809.625 B55			809.625 B55					809.750 B46
9										
10										
11										
12										

各周波数域には 20 の周波数バンク、最大 8 のチャネルがあります。





## EK 500 G4 のセットアップ

以下のセクションには EK 500 G4 のセットアップに関する詳細が記載されています。

EK 500 G4 の操作方法は、「EK 500 G4 の使用」に詳細が記載されています。

### バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し









ダイバーシティ受信機は、バッテリー（単三電池 1.5 V）でもゼンハイザーの充電式 BA 2015 バッテリーでも使用できます。

- ▷ 2 箇所の留め金を押してバッテリーコンパートメントカバーを開きます。
- ▷ 下のよう（に）バッテリーまたは充電式バッテリーを挿入します。  
バッテリーの挿入時には、極の方向が正しいことを確認してください。



- ▷ バッテリーコンパートメントを閉じます。
- ▷ カバーはカチッと音がしてロックがかかります。

## バッテリー残量

	100 %	> 8 h
	70 %	4 - 6 h
	30 %	2 - 3 h
LOW BATT   		
		

バッテリー残量が少ない時 (LOW BATT) :



## ヘッドホンを EK 500 G4 に接続

---

注意



大音量レベルによる危険

高すぎる音量は聴覚の障害を招くことがあります。

▷ ヘッドホンをつける前に音量を下げてください。

---

ヘッドホンを受信機に接続するには：

- ▷ ケーブルの 3.5 mm ジャックプラグを図のように受信機の PHONES ソケットに差し込みます。
- ▷ 必要があれば、受信機のオーディオソケットのネジにプラグのカップリングをねじ込みます。



## ダイバーシティ受信機をカメラに取り付ける

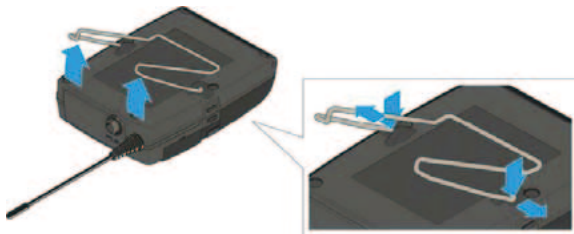
同梱の CA 2 カメラキットを使って、ダイバーシティ受信機をカメラのホットシューに取り付けることができます。

EK 500 G4 ダイバーシティ受信機をカメラに取り付けるには：

- ▷ ホットシューアダプターを穴付きプレートに取り付ける際は取り付け場所にご注意し、ダイバーシティ受信機がカメラに正しく取り付けられるようにしてください。
- ▷ その位置で穴付きプレートの下に四角ナットを取り付けます。
- ▷ ホットシューアダプターを穴付きプレートに四角ナットで固定します。



- ▷ ベルトクリップを持ち上げます。
- ▷ クリップの片方を固定穴で下向きに押しハウジングから引き出します。
- ▷ もう一方も同様にします。



- ▷ 穴付きプレートをダイバーシティ受信機の裏側に付けます。
- ▷ クリップを付け直します。



- ▷ 受信機をカメラ上でスライドさせながら装着します。



## ダイバーシティ受信機をカメラに接続する

ダイバーシティ受信機をカメラに取り付けるには：

- ▷ 同梱の接続ケーブルを使って受信機のジャックソケットにカメラのライン入力を差し込みます。



- ▷ カメラの入力レベルにしたがって、ダイバーシティ受信機の操作メニュー AF Out からオーディオ出力のレベルを調整します（「AF Out メニュー」を参照）。

**i** 接続ケーブルのシールドは第二のダイバーシティアンテナの片側の役割を果たします。ピン割り当ての詳細は、「ピン割り当て」をご覧ください。

## SKM 500 G4 のセットアップ

本セクションには、SKM 500 G4 のセットアップに関する詳細情報が記載されています。

SKM 500 G4 の操作方法は、「SKM 500 G4 の使用」に詳細が記載されています。

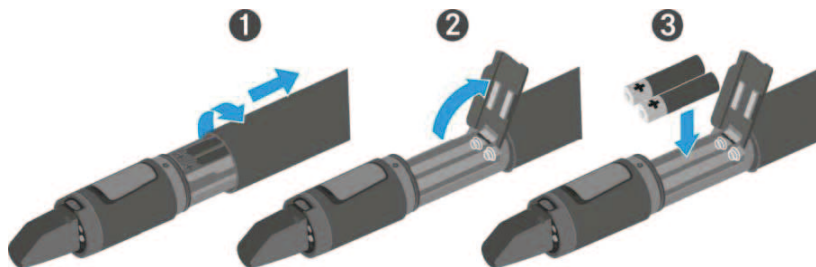
### バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し

ワイヤレスマイクは、バッテリー（単三電池 1.5 V）でもゼンハイザーの充電式 **BA 2015** バッテリーでも使用できます。

▷ 矢印の方向（反時計回り）にワイヤレスマイクの後部を回してワイヤレスマイクのハンドルを外します。








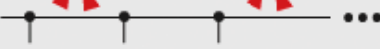
**i** 使用中にワイヤレスマイクの後部を回し緩めると自動でミュートになります。**MUTE** がディスプレイパネルに表示されます。ワイヤレスマイクの後部を回し閉めると、ミュートが解除されます。

- ▷ ワイヤレスマイクの後部を完全に引き出します。
- ▷ バッテリーコンパートメントのカバーを開きます。
- ▷ カバーに示されているように、バッテリーコンパートメントにバッテリーまたは **BA 2015** 充電式バッテリーを入れます。
- ▷ バッテリー / バッテリーパックの挿入時には、極の方向が正しいことを確認してください。

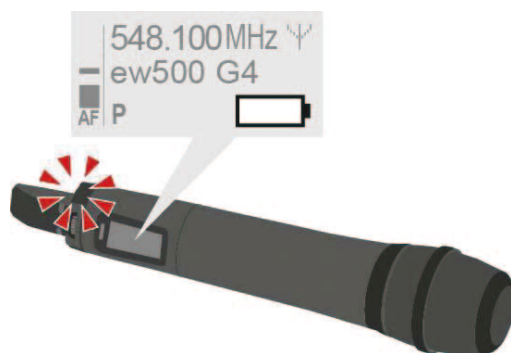


- ▷ カバーを閉じます。
- ▷ バッテリーコンパートメントをワイヤレスマイクのハンドルに押し込みます。
- ▷ ワイヤレスマイクの後部を回してハンドルをもとの位置に戻します。

## バッテリー残量

	100 %	> 8 h
	70 %	4 - 6 h
	30 %	2 - 3 h
LOW BATT   		
		

バッテリー残量が少ない時 (LOW BATT) :





## マイクモジュールの交換

- ▷ マイクモジュールのネジを回して外してください。
- ▷ 希望のマイクモジュールを付けます。



---

**i** ▷ ワイヤレスマイクのコンタクトやマイクモジュールのコンタクトに触れないでください。コンタクトに触れると、汚れたり折れ曲がったりする場合があります。

使用中にマイクモジュールを外すと、自動でミュートになります。**MUTE**がディスプレイパネルに表示されます。マイクをもとに戻すと、ミュートが解除されます。

---

## SK 500 G4 のセットアップ

本セクションには、SK 500 G4 のセットアップに関する詳細情報が記載されています。

SK 500 G4 の操作方法は、「SK 500 G4 の使用」に詳細が記載されています。

### バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し








ボディバック型送信機は、バッテリー（単三電池 1.5 V）でもゼンハイザーの充電式 BA 2015 バッテリーでも使用できます。

- ▷ 2箇所 の留め金を押してバッテリーコンパートメントカバーを開きます。
- ▷ 下のようにバッテリーまたは充電式バッテリーを挿入します。バッテリーの挿入時には、極の方向が正しいことを確認してください。



- ▷ バッテリーコンパートメントを閉じます。  
カバーはカチッと音がしてロックがかかります。

## バッテリー残量

	100 %	> 8 h
	70 %	4 - 6 h
	30 %	2 - 3 h
LOW BATT 	 ○ 	

バッテリー残量が少ない時 (LOW BATT) :



## マイクを SK 500 G4 に接続

マイクをボディパック型送信機に接続するには：

- ▷ ケーブルの 3.5 mm ジャックプラグを図のようにボディパック型送信機の **MIC/LINE** ソケットに差し込みます。
- ▷ ボディパック型送信機のオーディオソケットのネジにプラグのカップリングリングをねじ込みます。



## SK 500 G4 に楽器やラインソースを接続する

ボディパック型送信機には、楽器やラインレベルのオーディオソースを接続できます。

そのためには **Ci 1-N** (スクリューロック付き 3.5mm ジャック -6.3mm ジャック) または **CL 2** (スクリューロック付き 3.5mm ジャック -XLR) のゼンハイザーケーブルが必要です。

ボディパック型送信機に楽器やラインソースを接続するには：

- ▷ ケーブルの 3.5 mm ジャックプラグを図のようにボディパック型送信機の **MIC/LINE** ソケットに差し込みます。
- ▷ ボディパック型送信機のオーディオソケットのネジにプラグのカップリングをねじ込みます。



## ボディバック型送信機を衣服に装着する

ベルトクリップを使って、ボディバック型送信機をご自分のウェストベルトまたはギターストラップにつけることができます。

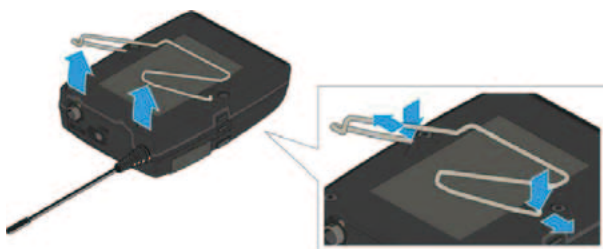
ベルトクリップは取り外しが可能で、ボディバック型送信機のアンテナを下方に向けることができます。取り外すにはベルトクリップを固定箇所から引張り、反対側に取り付けます。

誤って移動してしまわないよう、ベルトクリップは固定できます。



ベルトクリップを外すには：

- ▷ 図のようにベルトクリップを持ち上げます。
- ▷ クリップの片方を固定穴で下向きに押し送信機のハウジングから引き出します。
- ▷ もう一方も同様にします。



## SKP 500 G4 のセットアップ

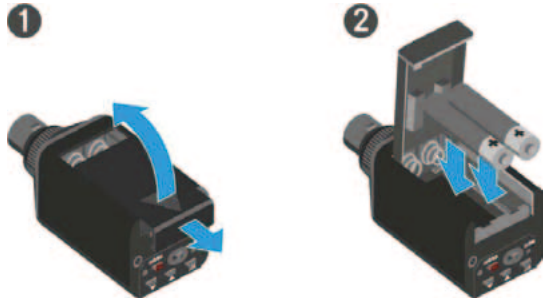
本セクションには、SKP 500 G4 のセットアップに関する詳細情報が記載されています。

SKP 500 G4 の操作方法は、「SKP 500 G4 の使用」に詳細が記載されています。

### バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し







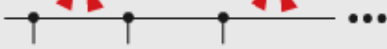
プラグオントランスミッターは、バッテリー（単三電池 1.5 V）でもゼンハイザーの充電式 BA 2015 バッテリーでも使用できます。

- ▷ バッテリーコンパートメントカバーを、記されている矢印の方向にスライドさせて開きます。
- ▷ 下のようにバッテリーまたはバッテリーパックを挿入します。バッテリー / バッテリーパックの挿入時には、極の方向が正しいことを確認してください。



- ▷ バッテリーコンパートメントを閉じます。  
カバーはカチッと音がしてロックがかかります。

## バッテリー残量

	100 %	> 8 h
	70 %	4 - 6 h
	30 %	2 - 3 h
LOW BATT 	 ○ 	

バッテリー残量が少ない時 (LOW BATT) :





## プラグオントランスミッターをマイクに付ける



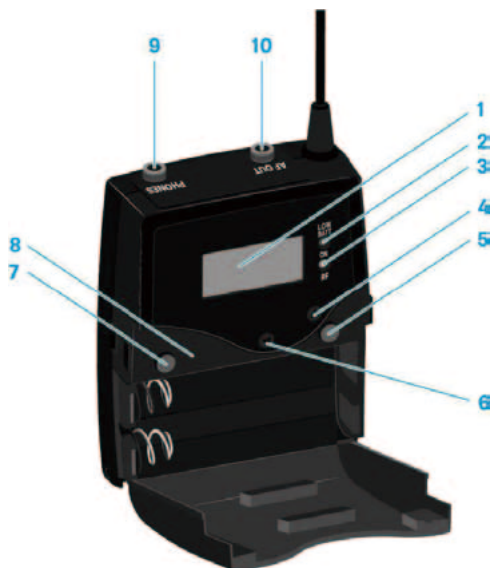
最適な信号伝送のためには、メタルハウジングのマイクをご使用ください。

- ▷ マイクの **XLR-3** ジャック (オス) をプラグオントランスミッターの **XLR-3** ソケット (メス) に差し込みます。
- ▷ ロックリングを矢印の方向にしっかりねじ込みます。



# EK 500 G4 の使用

## EK 500 G4 各部の名称



- 1 ディスプレイパネル
- 2 操作とバッテリーインジケーター、赤色 LED
  - ・点灯 = 電源 ON
  - ・点滅 = 低バッテリー
- 3 RF 受信インジケーター、緑色 LED
  - ・点灯 = RF 受信時
- 4 ▲ UP ボタン
- 5 SET ボタン
- 6 ▼ DOWN ボタン
- 7 ON/OFF ボタン
  - ・送信機のオン・オフを行います。
  - ・ESC (終了) 機能
- 8 赤外線インターフェイス
- 9 3.5 mm ジャックソケット PHONES
- 10 3.5 mm ジャックソケット AF OUT (AF 出力)
  - ・ネジ式、固定可能

## EK 500 G4 電源のオン／オフ

▷ 2 箇所の留め金を押してバッテリーカバーを開きます。

電源をオンにするには：

▷ ゼンハイザーのロゴがディスプレイに表示されるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。

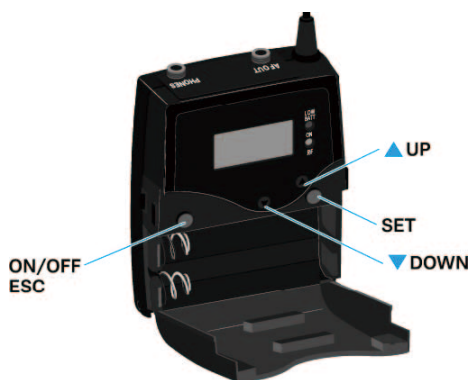


電源をオフにするには：

▷ ディスプレイが消えるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。

## EK 500 G4 操作方法

EK 500 G4 の操作には、次のボタンを使用します。



---

### ON/OFF



#### ON/OFF ボタン

- ESC 機能：入力をキャンセルし現在の標準画面に戻ります
- 標準画面を選択します

---

### SET



#### SET ボタン

- 現在の標準ディスプレイから操作メニューに変わります
- メインメニューが表示されます
- サブメニューに進みます
- 設定を保存し操作メニューに戻ります



#### ▲ UP ▼ DOWN ボタン

- 前または次のメニューに移動します
- メニューの設定を変更します

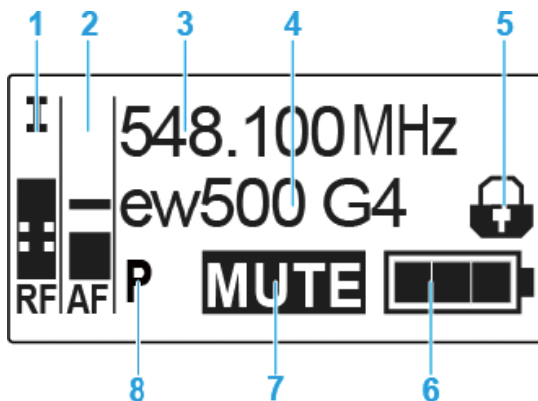
## ディスプレイ概要

受信機にスイッチを入れると、ディスプレイパネルにはゼンハイザーのロゴが表示されます。しばらくするとホーム画面が表示されます。

ホーム画面には 2 つの標準画面があります。

▷ **ON/OFF** ボタンを短く押すと、標準画面が切り替わります。

周波数 / 名前の標準表示



- 1 RF 受信レベル (電波)
  - RF 信号レベル表示
  - スケルチ検知レベル表示
- 2 AF オーディオレベル (音声)
  - 送信機のオーディオレベルを表示
  - オーディオレベルの表示がフルスケールの時は、オーディオ入力レベルが非常に高くなっている状態です。
- 3 周波数
  - 現在の受信周波数
- 4 名前
  - 現在設定されている名前を表示
- 5 ロックモードアイコン
  - Auto Lock が有効になっている時に表示されます。
- 6 受信機のバッテリー残量

## 7 ミュート機能

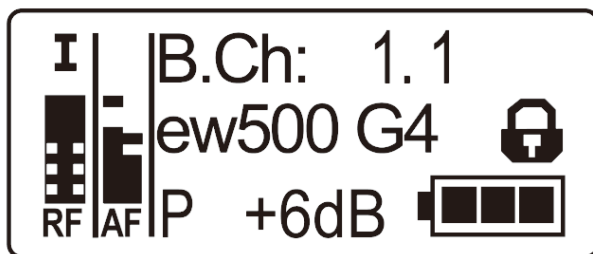
- “MUTE” の表示がある時は、レシーバーのオーディオ出力をミュートしている状態です。

## 8 パイロットトーン

- P マークが表示されている時はパイロットトーンが有効の状態です

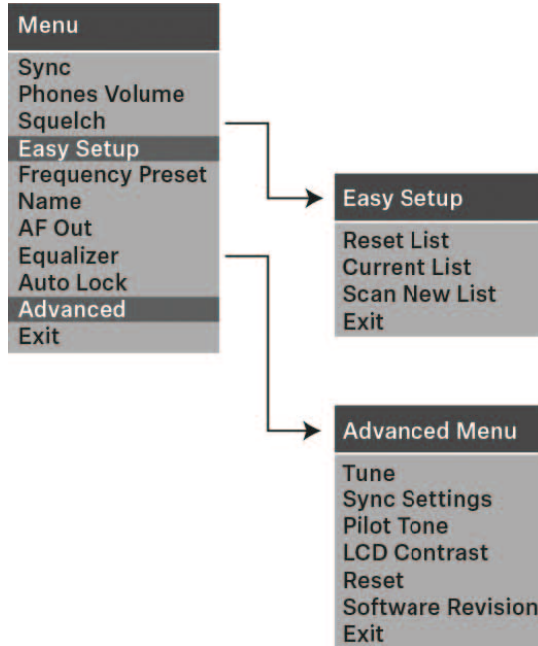
### 周波数バンク / チャンネル / 名前の標準表示

周波数バンク / チャンネル / 名前の標準表示では、ライン出力レベル、AF Out が MUTE のミュート機能の代わりに表示されます。



## メニューの概要

図は EK 500 G4 メニュー構造全体の概要を示しています。



## Sync メニュー

Sync メニューで ew 500 P G4 シリーズの送信機と受信機を同期できます。

送信機に伝送する **Parameters** を「Advanced -> Sync Settings メニュー」で設定できます。

デバイスは以下のようにして同期させます。

- ▷ 送信機と受信機の電源をオンにします。
- ▷ 受信機の **Sync** メニューを呼び出します。

**Sync** が受信機の画面に表示されます。

- ▷ 送信機の赤外線インターフェイスを受信機の赤外線インターフェイスの前に置きます。

パラメーターが送信機へと送られます。転送が完了すると、受信機の画面に完了を示すチェックマークが表示されます。受信機の画面が現状の標準画面に戻ります。



同期を取り消すには、

- ▷ 受信機の **ON/OFF** ボタンを押します。  
画面に **X** が表示されます。

このアイコンは次の場合も表示されます。

- 送信機が認識されないか、送信機が対応していない
- 送信機が認識されておらず、同期プロセスが 30 秒後に自動で終了

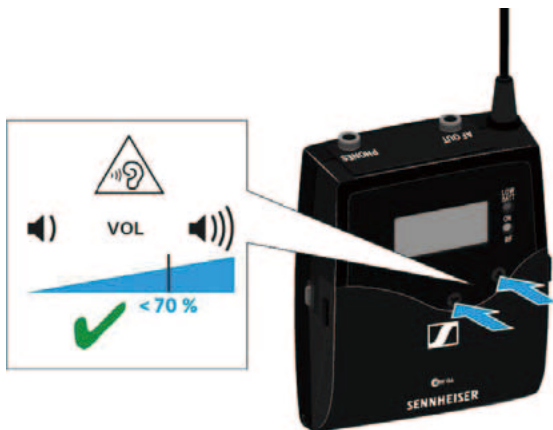


## Phones Volume メニュー

Phones Volume メニューでヘッドホン出力の音量を調整できます。

設定範囲：1～5

標準画面で▲UPと▼DOWN ボタンを押しても、ヘッドホン音量の調整ができます。

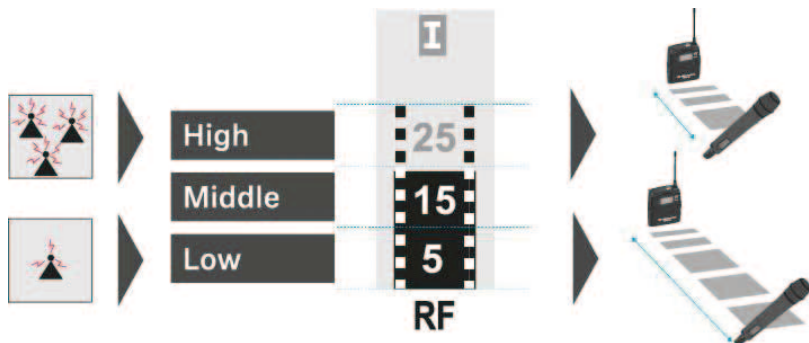


## Squelch メニュー

Squelch メニューでスケルチ検知レベルの調整を行えます。

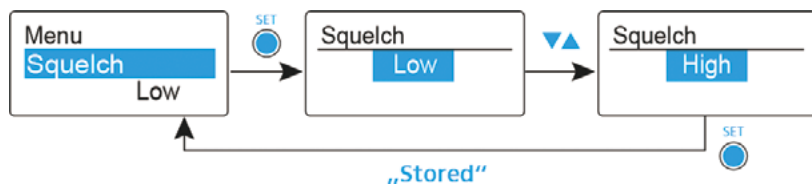
設定範囲 : 5 dB  $\mu$  V ~ 25 dB  $\mu$  V  
(2db ステップ)

スケルチ検知レベルはホーム画面の RF 信号レベル部に表示されます。



Squelch メニューを開くには :

- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押し操作メニューを開きます。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押しして選択した枠内に **Squelch** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押ししてメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ **SET** ボタンを押しして設定に加えた変更を保存するか、
- ▷ **ON/OFF** ボタンを押しして設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

---

**注意****聴力、機材への損傷**

スケルチ検知レベルを低くしすぎると、シューという大きなノイズが受信機で発生することがあります。このノイズは大きく、聴覚の障害やシステムのラウドスピーカーの損傷を招くことがあります。

- ▷ スケルチ検知レベルを調整する前に、オーディオ出力の音量を最小に設定してください。
  - ▷ ライブ伝送中にスケルチ検知レベルの変更は絶対にしないでください。
-

## Easy Setup メニュー

Easy Setup メニューでスキャンすることにより電波干渉を避けた周波数を設定できます。

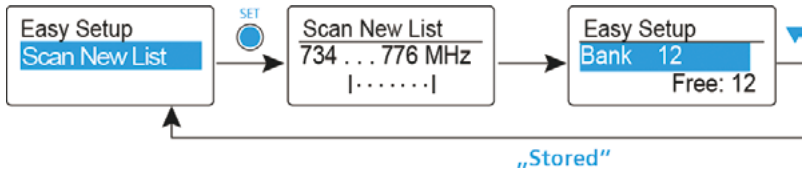


スキャンを実行する前に全ての送信機のスイッチを切ってください。送信機がオンになったままだと利用不可能な周波数として検知されるため、実際に使用可能な周波数が使用できません。

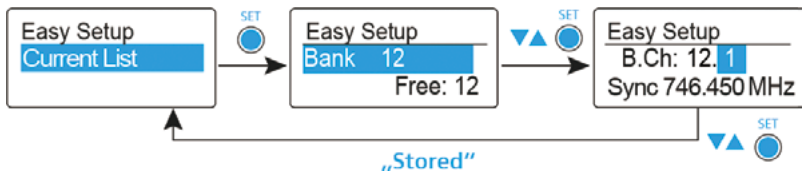
Easy Setup メニューを開くには

- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押し操作メニューを開きます。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押して選択した枠内に **Easy Setup** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押してメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。

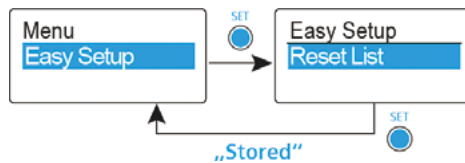
- **Scan New List** : 現在使用中の電波を感知し、空いている周波数を自動で検索します。(周波数プリセット)



- **Current List** : sennheiser オリジナル周波数プランが Bank 毎に設定されています。同空間で 2 本以上使用する場合は、同じ Bank 内プランで Ch を変えて使用してください。Scan した場合は、使用不可の周波数を除いて表示されます。



- **Reset List** : Current List をデフォルトに戻します。



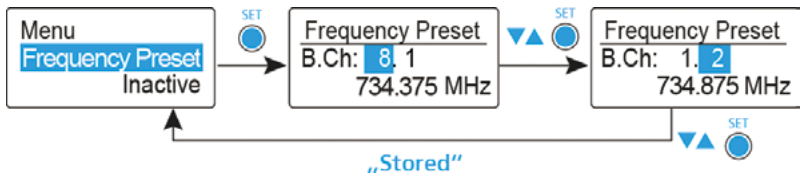
- ▷ **SET** ボタンを押して設定に加えた変更を保存するか、
- ▷ **ON/OFF** ボタンを押して設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

## Frequency Preset メニュー

Frequency Preset メニューでは、周波数バンクとチャンネルを調整して受信機の受信周波数を調整することができます。

Frequency Preset メニューを開くには：

- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押し操作メニューを開きます。
- ▷ ▲ **UP** または ▼ **DOWN** ボタンを押しして選択した枠内に **Frequency Preset** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押ししてメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



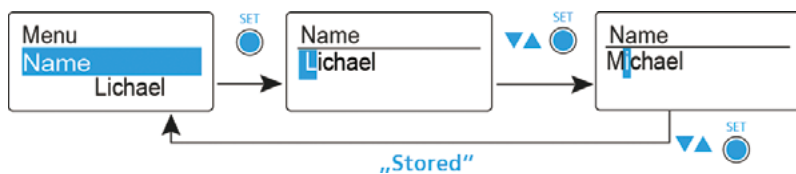
- ▷ **SET** ボタンを押しして設定に加えた変更を保存するか、
- ▷ **ON/OFF** ボタンを押しして設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

## Name メニュー

Name メニューで名前の変更が出来ます。

Name メニューを開くには

- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押し操作メニューを開きます。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押しして選択した枠内に **Name** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押ししてメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ **SET** ボタンを押しして設定に加えた変更を保存するか、
- ▷ **ON/OFF** ボタンを押しして設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

## AF Out メニュー

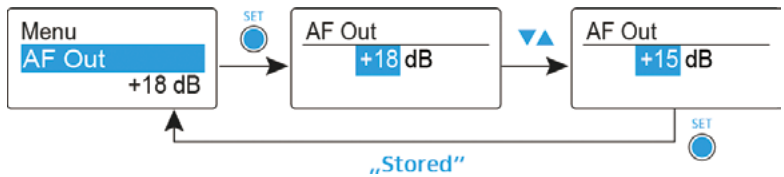
AF Out メニューでオーディオ出力のレベルを調整できます。

設定範囲：

- -24 dB ~ +18 dB まで 6 dB ステップで変更可能。

AF Out メニューを開くには、

- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押し操作メニューを開きます。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押しして選択した枠内に **AF Out** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押ししてメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



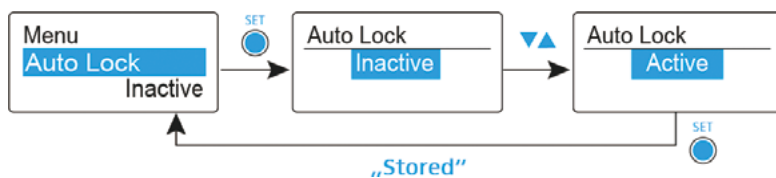
- ▷ **SET** ボタンを押しして設定に加えた変更を保存するか、
- ▷ **ON/OFF** ボタンを押しして設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

## Auto Lock メニュー

Auto Lock メニューで Auto Lock 機能を有効または無効にできます。

Auto Lock メニューを開くには：

- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押し操作メニューを開きます。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押しして選択した枠内に **Auto Lock** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押ししてメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ **SET** ボタンを押しして設定に加えた変更を保存するか、
- ▷ **ON/OFF** ボタンを押しして設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

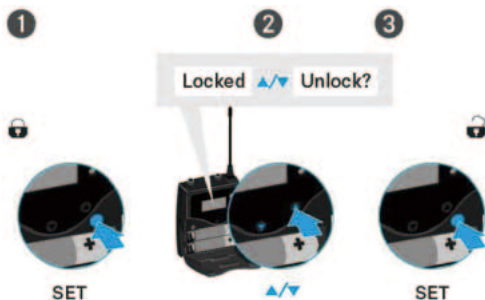


Auto Lock 機能は、ワイヤレスマイクのスイッチを意図せず切るのを防ぐほか、送信機の設定を意図せず切り替えるのを防ぎます。現状の標準画面では、ロックアイコンは Auto Lock 機能がオンになっているかどうかを示します。

Auto Lock を有効にすると、操作するためにロックの一時解除をする必要があります。

ロックを一時解除するには：

- ▷ SET ボタンを押します。  
Locked がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ ▲ UP または ▼ DOWN ボタンを押します。  
Unlock? がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ SET ボタンを押します。  
これでロックは一時的に解除されます。



操作メニューでは、

>> 一時ロック解除後ただちに解除されることはありませんので操作メニューで操作が可能です。

標準画面のいずれかが表示されているときは、

>> 一時ロック解除後 10 秒たつと自動的に作動します。

Auto Lock 機能の作動中は、ロックモードアイコンが点灯します。

## Advanced メニュー

Advanced サブメニューで高度な設定ができます。

Advanced サブメニューを開くには：

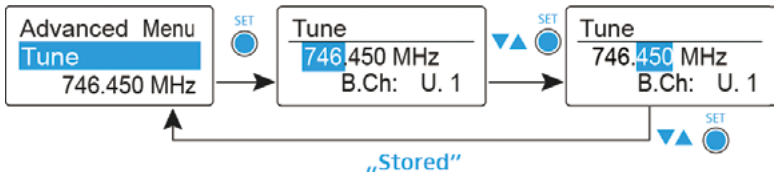
- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押し操作メニューを開きます。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押しして選択した枠内に **Advanced** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押ししてサブメニューを開きます。

## Advanced -> Tune メニュー

Advanced サブメニューの **Tune** メニューで、**U** 周波数バンクの受信周波数を設定できます。

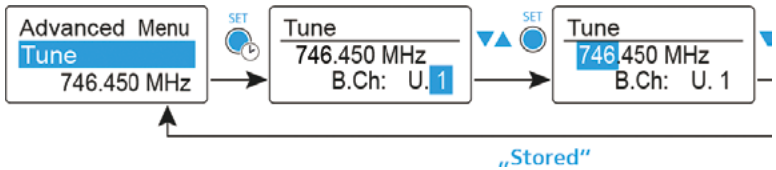
### 周波数のみ調整する

- ▷ **Advanced** メニューから、**Tune** メニューを開きます。
- ▷ 設定を調整します。



### チャンネルと周波数を設定する

- ▷ メニューを選択し、チャンネル選択画面が表示されるまで **SET** ボタンを押し続けます。



## Advanced-> Sync Settings メニュー

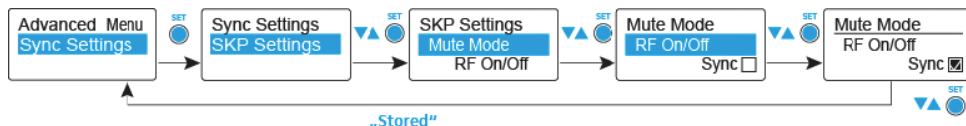
Advanced サブメニューの Sync Settings メニューで送信機に送るパラメーターおよび伝送の有効、無効の設定ができます。パラメーターは SK、SKM、SKP で個別に設定します。

次のパラメーターを有効または無効にできます。

- Sensitivity
- Auto Lock
- Mute Mode
- Phantom Power48 V (SKP 500 G4 のみ)

パラメーターおよび伝送の有効、無効を設定するには：

- ▷ **Advanced-> Sync Settings**メニューで目的のパラメーターを選びます。
- ▷ **SET** ボタンを押してサブメニューを開きます。
- ▷ 値を設定するには、**▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押します。
- ▷ 設定を保存するには、**SET** ボタンを押します。
- ▷ チェックボックスを有効または無効にするには、**▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押します。



チェックボックスを有効にすると、その値は同期中伝送されます。無効にするとその値は伝送されません。

- ▷ 設定を保存するには、**SET** ボタンを押します。

## Advanced -> Pilot Tone メニュー

Advanced サブメニューの Pilot Tone メニューでパイロットトーンを有効または無効にすることができます。



本製品のパイロットトーンはゼンハイザー固有のトーン信号を使用しています。パイロットトーンを ON にすると受信機はトーン信号を持つ送信機以外の電波を受け付けません。他のデバイスによるノイズ発生を防ぐことができます。

### Advanced -> LCD Contrast メニュー

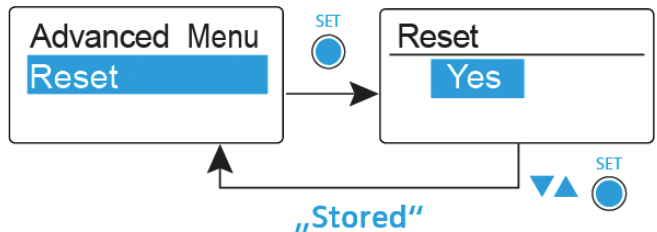
Advanced サブメニューの LCD Contrast メニューで、ディスプレイパネルのディスプレイコントラストを 16 段階に調整できます。



### Advanced -> Reset メニュー

Advanced サブメニューの Reset メニューで、受信機の設定をリセットできます。

ダイバーシティ受信機をリセットする場合、パイロットトーンと U 周波数バンクの選択した設定のみが保持されます。

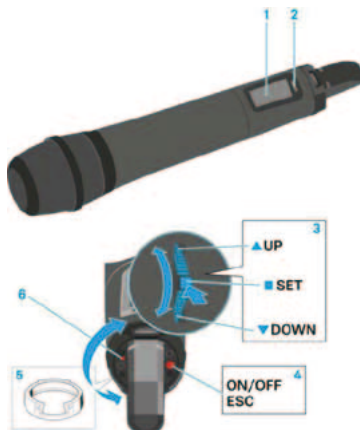


### Advanced -> Software Revision メニュー

Advanced サブメニューの Software Revision メニューで、受信機に使用されているソフトウェアのバージョンを表示できます。

## SKM 500 G4 の使用

### SKM 500 G4 各部の名称



- 1 ディスプレイパネル
- 2 赤外線インターフェイス
- 3 マルチファンクションスイッチ (▲ UP/ ▼ DOWN および SET)
- 4 ON/OFF ボタン
  - 電源のオン・オフを行います。
  - ESC (終了) 機能
- 5 識別カラーリング
  - マルチファンクションスイッチ保護も兼ねています。
- 6 操作とバッテリーインジケータ、赤色 LED
  - 点灯 = 電源 ON
  - 点滅 = 低バッテリー

## SKM 500 G4 電源のオン／オフ

電源をオンにするには：

- ▷ ゼンハイザーのロゴがディスプレイに表示されるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。



電源をオフにするには：

- ▷ ディスプレイが消えるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。

## ハンドヘルド送信機の A F ミュート

送信機のオーディオ信号はミュートにできません。  
しかし RF 信号を無効にすると AF 信号は出力されません。

## ハンドヘルド送信機の R F ミュート

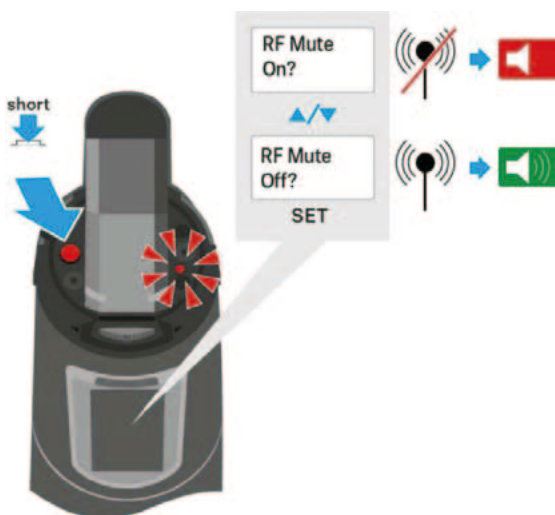
RF 信号は、ON/OFF ボタンで無効にできます。

RF 信号を無効にするには、

- ▷ **ON/OFF** ボタンを押します。  
RF Mute On? と表示されます。
- ▷ **SET** ボタンを押します。  
送信周波数が表示されますが、ワイヤレスマイクは RF 信号を出しません。  
アンテナアイコンは点灯しません。

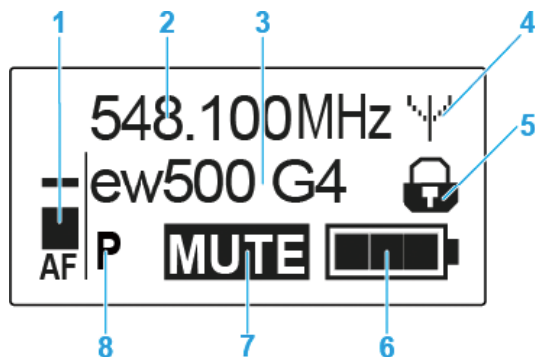
RF 信号を有効にするには：

- ▷ **ON/OFF** ボタンを押します。  
RF Mute Off? と表示されます。
- ▷ **SET** ボタンを押します。  
アンテナアイコンが再度表示されます。



## ディスプレイ概要

送信機のディスプレイでは次の情報を見ることができます。



- 1 AF オーディオレベル（音声）
  - ・オーディオレベルをピーク保持機能で表示
- 2 周波数
  - ・現在の送信周波数です
- 3 名前
  - ・現在設定されている名前を表示
- 4 アンテナアイコン
  - ・アンテナアイコンが表示されている時は RF 信号（電波）が伝送されている状態です
- 5 ロックモードアイコン
  - ・Auto Lock が有効になっている時に表示されます。
- 6 バッテリー残量
- 7 MUTE 機能
  - ・“MUTE” の表示がある時は、オーディオ信号をミュートしている状態です。
- 8 パイロットトーン
  - ・P マークが表示されている時はパイロットトーンが有効の状態です



## 標準画面を選択します

▷ マルチファンクションスイッチを動かして標準画面を選択します：  
周波数 / 名前の標準画面



チャンネル / 周波数 の標準画面



名前 / チャンネルの標準画面



## SKM 500 G4 操作方法

### メニューの移動

メニューを開くには、

- ▷ **SET** ボタンを押します。

操作メニューが送信機のディスプレイパネルに表示されます。

メニューを開くには、

- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押して各メニュー間を移動します。
- ▷ **SET** ボタンを押して選択したメニューを開きます。

### メニュー内容の変更

メニューを開いた後次の変更ができます。

- ▷ 表示された値を設定するには、**▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押します。
- ▷ 設定を保存するには、**SET** ボタンを押します。
- ▷ 設定を保存せずにそのメニューを終了するには、**ON/OFF** ボタンを押します。

### メニュー概要

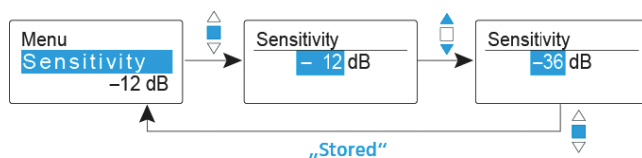
メニューでは、以下の設定と情報の表示が行えます。

### Sensitivity メニュー

- 入力感度 - **AF** オーディオレベルの調整

設定範囲：0 dB ~ -48 dB まで 3dB ステップで変更可能。

ワイヤレスマイクがミュートになっている時には **AF** オーディオレベルが表示されます。

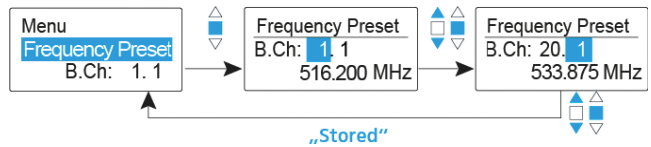


### 推奨プリセット：

- 大音量の音楽 / ボーカル：-48 ~ -18 dB
- モデレーション：-18 ~ -12 dB
- インタビュー：-12 ~ 0 dB

## Frequency Preset メニュー

- 周波数バンクとチャンネルのマニュアル選択



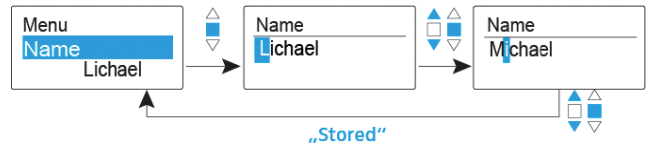
**i** Frequency Preset メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

マルチチャンネルシステムを作る際には以下の点にご注意ください。

Sennheiser オリジナル周波数プランでは最大 8 波での運用が可能です。(環境により変動) 他の周波数プランでは相互変調が発生し運用が困難になりますので、プランをご確認の上、ご使用ください。

## Name メニュー

- 名前の入力



**Name** メニューでは、ワイヤレスマイクに好きな名前を入力できます。

この名前は、**周波数 / 名前**および**名前 / チャンネル**の標準画面に表示されます。

名前は最大で 8 文字です。

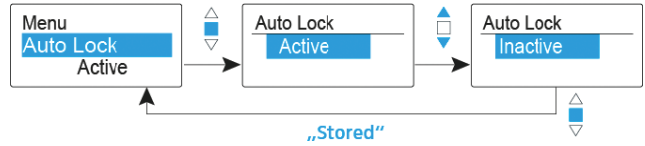
- ウムラウトのついた文字は使えません。
- 0 ~ 9 の数字が使えます
- 特殊な文字やスペースが使えます

以下のようにして名前を入力してください。

- ▷ マルチファンクションスイッチを動かして文字を選択します。
- ▷ マルチファンクションスイッチを押して次のスペースに移るか、入力が完了したら名前を保存します。

## Auto Lock メニュー

- Auto Lock 機能のオンオフ切り替え



Auto Lock 機能は、ワイヤレスマイクのスイッチを意図せず切るのを防ぐほか、送信機の設定を意図せず切り替えるのを防ぎます。現状の標準画面では、ロックアイコンは Auto Lock 機能がオンになっているかどうかを示します。

Auto Lock を有効にすると、操作するためにロックの一時解除をする必要があります。

ロックを一時解除するには：

- ▷ SET ボタンを押します。  
Locked がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ ▲ UP または ▼ DOWN ボタンを押します。  
Unlock? がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ SET ボタンを押します。  
これでロックは一時的に解除されます。

1

2

3



SET



SET

## Advanced -&gt; Tune メニュー

- 送信周波数と周波数バンクの設定

ワイヤレスマイクをシステムバンクに設定し、**Tune** メニューを選ぶと、周波数バンク **U** のチャンネル **1** が自動的に設定されます。メッセージ **U.1** が画面に短時間表示されます。工場出荷時設定では、周波数バンク **U** のチャンネルはその送信周波数にも割り当てられていません。

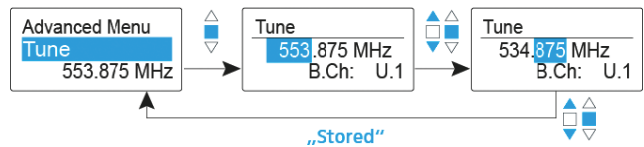
**Tune** メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

現在のチャンネルの送信周波数を設定するか、周波数バンク **U** でチャンネルを選択してこのチャンネルの送信周波数を **Tune** メニューで設定できます。

現在のチャンネルの送信周波数は以下のように設定します。

- ▷ マルチファンクションスイッチを動かして **Tune** メニューを表示させます。
- ▷ マルチファンクションスイッチを押します。

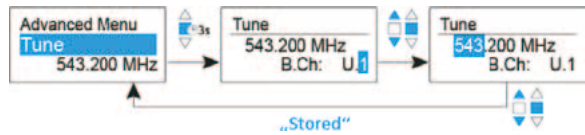
周波数選択が表示されます。



- ▷ 希望の周波数を設定します。
- ▷ マルチファンクションスイッチを押します。  
設定が保存されます。操作メニューに戻ります。

チャンネルの選択と周波数の割り当ては、次の手順で行います。

- ▷ マルチファンクションスイッチを動かして Tune メニューを表示させます。
- ▷ マルチファンクションスイッチを長押しし、周波数バンク選択画面を表示させます。



- ▷ 希望のチャンネルを設定します。
- ▷ マルチファンクションスイッチを押します。  
周波数選択が表示されます。
- ▷ 周波数を設定します。

#### Advanced -> Pilot Tone メニュー

- パイロットトーンを有効または無効にする



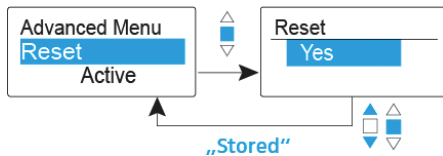
本製品のパイロットトーンはゼンハイザー固有のトーン信号を使用しています。パイロットトーンを ON にすると受信機はトーン信号を持つ送信機以外の電波を受け付けません。他のデバイスによるノイズ発生を防ぐことができます。

## Advanced -&gt; LCD Contrast メニュー

- ディスプレイパネルのコントラストを調整する  
ディスプレイのコントラストを 16 段階から選択できます。

## Advanced -&gt; Reset メニュー

- ワイヤレスマイクのリセット



ワイヤレスマイクをリセットする場合、パイロットトーンと U1 ~ U6 の周波数バンクの選択した設定のみが保持されます。

## Advanced -&gt; Software Revision メニュー

- ソフトウェアの情報を表示する  
現在のソフトウェア情報を表示できます。

# SK 500 G4 の使用

## SK 500 G4 各部の名称



- 1 ディスプレイパネル
- 2 操作とバッテリーインジケーター、赤色 LED
  - ・点灯 = 電源 ON
  - ・点滅 = 低バッテリー
- 3 AF PEAK インジケーター、黄色の LED
  - ・点灯 = AF PEAK (過負荷)
- 4 ▲ UP ボタン
- 5 SET ボタン
- 6 ▼ DOWN ボタン
- 7 ON/OFF ボタン
  - ・電源のオン・オフを行います。
  - ・ESC (終了) 機能
- 8 赤外線インターフェイス
- 9 MUTE スイッチ
  - ・オーディオ信号のオン・オフまたは、RF 信号のオン・オフ



## SK 500 G4 電源のオン／オフ

▷ 2 箇所の留め金を押してバッテリーカバーを開きます。

SK 500 G4 の電源をオンにするには：

▷ ゼンハイザーのロゴがディスプレイに表示されるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。



SK 500 G4 の電源をオフにするには、

▷ ディスプレイが消えるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。

## ボディバック型送信機の AF ミュート

オーディオ信号のミュートは、**MUTE** スイッチで行います。

その際は、MUTE スイッチ機能を **AF On/Off** に設定してください。これについては「Advanced -> Mute Mode メニュー」をご参照ください。



- ▷ MUTE スイッチを MUTE の位置にスライドさせます。  
オーディオ信号がミュートされました。MUTE メッセージがディスプレイに表示されます。

## ボディバック送信機の RF ミュート

RF 信号は以下の 2 通りの方法で無効にできます。

### ① RF 信号を MUTE スイッチで無効にする

RF 信号は、MUTE スイッチで無効にできます。

その際は、MUTE スイッチ機能を AF On/Off に設定してください。これについては「Advanced -> Mute Mode メニュー」をご参照ください。



- ▷ MUTE スイッチを MUTE の位置にスライドさせます。RF 信号が無効になりました。MUTE メッセージが画面に表示され、アンテナアイコンが表示されなくなります。



② RF 信号を ON/OFF スイッチで無効にする

- ▷ **ON/OFF** ボタンを短く押します。  
RF Mute On ? と表示されます。
- ▷ **SET** ボタンを押します。

RF 信号が無効になりました。MUTE メッセージが画面に表示され、アンテナアイコンが表示されなくなります。



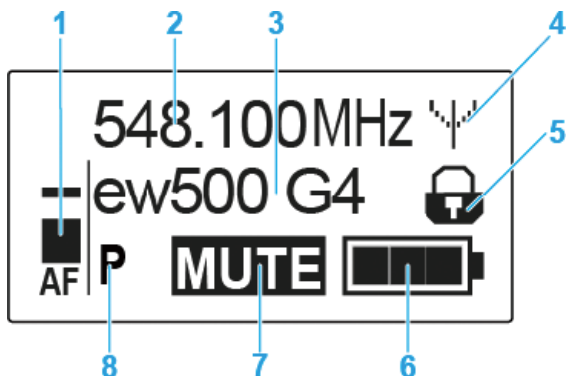
RF 信号を有効にするには、

- ▷ **ON/OFF** ボタンを短く押します。  
RF Mute Off? と表示されます。
- ▷ **SET** ボタンを押します。

アンテナアイコンが再び表示されます。

## ディスプレイ概要

送信機のディスプレイでは次の情報を見ることができます。



- 1 AF オーディオレベル (音声)
  - ・オーディオレベルをピーク保持機能で表示
- 2 周波数
  - ・現在の送信周波数です
- 3 名前
  - ・現在設定されている名前を表示
- 4 アンテナアイコン
  - ・アンテナアイコンが表示されている時は RF 信号 (電波) が伝送されている状態です
- 5 ロックモードアイコン
  - ・Auto Lock が有効になっている時に表示されます。
- 6 バッテリー残量
- 7 ミュート機能
  - ・“MUTE” の表示がある時は、オーディオ信号をミュートしている状態です。
- 8 パイロットトーン
  - ・P マークが表示されている時はパイロットトーンが有効の状態です

### 標準画面を選択します

▷ ▲UP または ▼DOWN ボタンを押して標準画面を選択します。

### 周波数 / 名前の標準画面



### チャンネル / 周波数の標準画面



### 名前 / チャンネルの標準画面



## SK 500 G4 操作方法

### メニューの移動

メニューを開くには、

- ▷ **SET** ボタンを押します。

操作メニューが送信機のディスプレイパネルに表示されます。

メニューを開くには、

- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押して各メニュー間を移動します。
- ▷ **SET** ボタンを押して選択したメニューを開きます。

### メニューの変更

メニューを開いた後次の変更ができます。

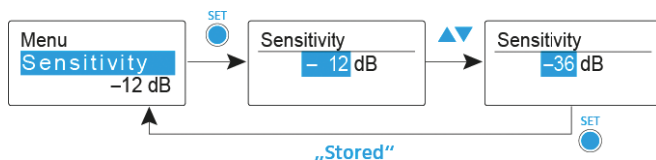
- ▷ 表示された値を設定するには、**▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押します。
- ▷ 設定を保存するには、**SET** ボタンを押します。
- ▷ 設定を保存せずにそのメニューを終了するには、**ON/OFF** ボタンを押します。

### メニュー概要

このメニューでは、以下の設定と情報の表示が行えます。

### Sensitivity メニュー

- 入力感度 - **AF** オーディオレベルの調整



**設定範囲**：0 dB ~ -60 dB まで 3dB ステップで変更可能。

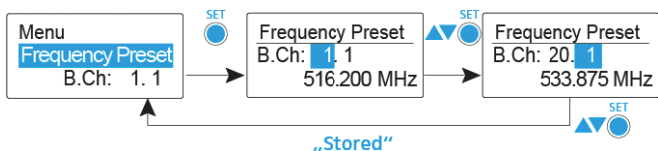
生放送前の感度チェックなどの場合、ボディバック型送信機がミュートになっている時には **AF** オーディオレベルが表示されます。

### 推奨プリセット：

- 大音量の音楽 / ボーカル -30 ~ -21 dB
- モデレーション：-21 ~ 0 dB
- エレキギター、シングルコイルピックアップ -30 ~ -24 dB
- エレキギター、ハムバッカーピックアップ -45 ~ -30 dB
- エレキギター、アクティブエレクトロニクス -45 ~ -30 dB

## Frequency Preset メニュー

- 周波数バンクとチャンネルのマニュアル選択



**i** Frequency Preset メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

マルチチャンネルシステムを作る際には以下の点にご注意ください。

Sennheiser オリジナル周波数プランでは最大 8 波での運用が可能です。(環境により変動) 他の周波数プランでは相互変調が発生し運用が困難になりますので、プランをご確認の上、ご使用ください。

## Name メニュー

- 名前の入力



**Name** メニューでは、ポディパック型送信機に好きな名前を入力できます。

この名前は、**周波数 / 名前**および**名前 / チャンネル**の標準画面に表示されます。

名前は最大で 8 文字です。

- ウムラウトのついた文字は使えません。
- 0 ~ 9 の数字が使えます
- 特殊な文字やスペースが使えます

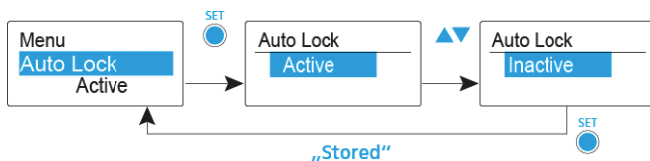
以下のようにして名前を入力してください。

- ▷ ▲ **UP** または ▼ **DOWN** ボタンを押して文字を選択します。
- ▷ **SET** ボタンを押して次の文字の入力に移るか、入力が完了したら名前を保存します。



## Auto Lock メニュー

- Auto Lock 機能のオンオフ切り替え



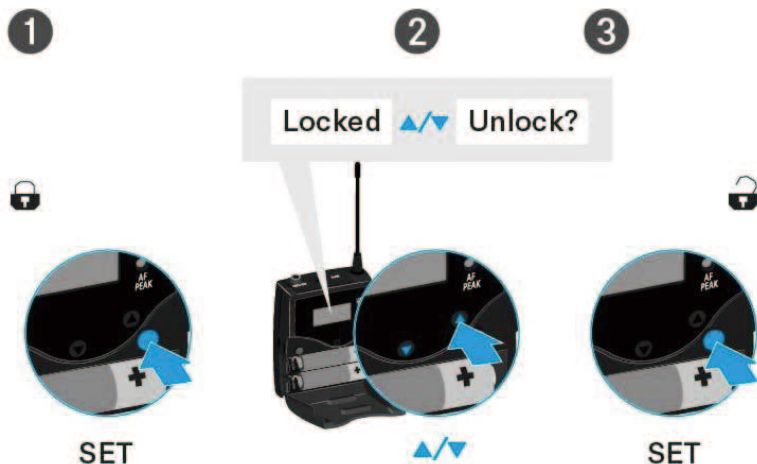
Auto Lock 機能は、ワイヤレスマイクのスイッチを意図せず切るのを防ぐほか、送信機の設定を意図せず切り替えるのを防ぎます。現在の標準画面では、ロックアイコンは Auto Lock 機能がオンになっているかどうかを示します。

Auto Lock を有効にすると、操作するためにロックの一時解除をする必要があります。

ロックを一時解除するには：

- ▷ SET ボタンを押します。  
Locked がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ ▲ UP または ▼ DOWN ボタンを押します。  
Unlock? がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ SET ボタンを押します。

これでロックは一時的に解除されます。



操作メニューでは、

>> 一時ロック解除後、ただちにロックされることはありませんので操作メニューで操作が可能です。

標準画面のいずれかが表示されているときは、

>> 一時ロック解除後、約 10 秒で再ロックされます。

Auto Lock 機能の作動中は、ロックモードアイコンが点灯します。

## Advanced -> Tune メニュー

- 送信周波数と周波数バンクの設定

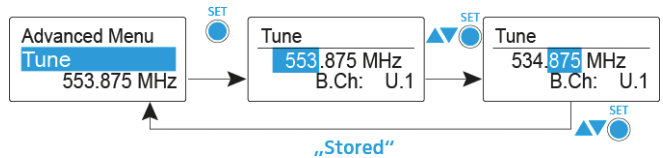
ボディパック型送信機をシステムバンクとして設定した場合、**Tune** のメニューを呼び出すと周波数バンク **U** のチャンネル **1** は自動で設定されます。メッセージ **U.1** が画面に短時間表示されます。工場出荷時設定では、周波数バンク **U** のチャンネルはどの送信周波数にも割り当てられていません。

**Tune** メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

現在のチャンネルの送信周波数を設定するか、周波数バンク **U** でチャンネルを選択してこのチャンネルの送信周波数を **Tune** メニューで設定できます。

現在のチャンネルの送信周波数は以下のように設定します。

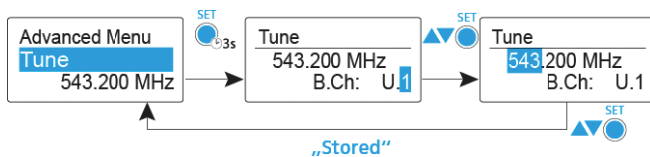
- ▷ **Advanced** メニューから、**Tune** のメニューを開きます。  
周波数選択が表示されます。



- ▷ 希望の周波数を設定します。
- ▷ **SET** ボタンを押します。  
設定が保存されます。操作メニューに戻ります。

チャンネルの選択と周波数の割り当てでは、次の手順で行います。

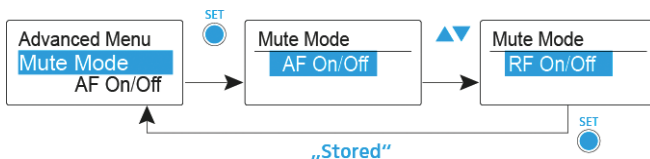
- ▷ **Advanced** メニューで周波数バンク選択が表示されるまで **SET** ボタンを押し続け、**Tune** メニューを開きます。



- ▷ 希望のチャンネルを設定します。
- ▷ **SET** ボタンを押します。  
周波数選択が表示されます。
- ▷ 周波数を設定します。

#### Advanced -> Mute Mode メニュー

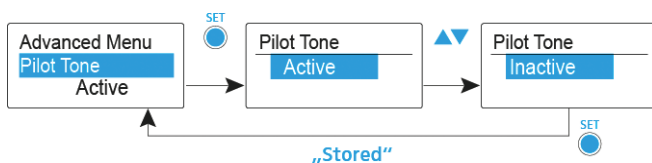
- **MUTE** スイッチの設定



モード	機能
AF On/Off	MUTE の位置になっていると、オーディオ信号がミュートされます。
RF On/Off	MUTE の位置になっていると、RF 信号がミュートされ、アンテナアイコンが表示されなくなります。
Disabled (無効)	機能しません

### Advanced -> Pilot Tone メニュー

- パイロットトーンを有効または無効にする



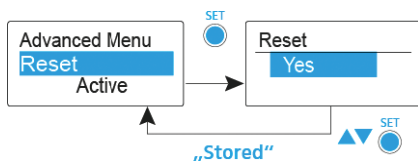
本製品のパイロットトーンはゼンハイザー固有のトーン信号を使用しています。パイロットトーンを ON にすると受信機はトーン信号を持つ送信機以外の電波を受け付けません。他のデバイスによるノイズ発生を防ぐことができます。

### Advanced -> LCD Contrast メニュー

- ディスプレイパネルのコントラストを調整する  
ディスプレイのコントラストを 16 段階から選択できます。

## Advanced -&gt; Reset メニュー

- ボディパック型送信機のリセット



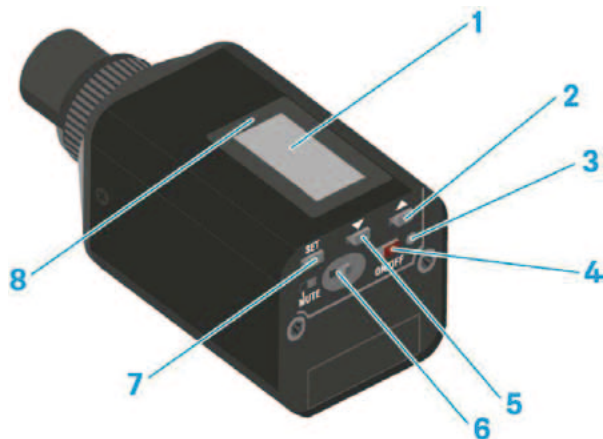
ボディパック型送信機をリセットする場合、パイロットトーンと U 周波数バンクの選択した設定のみが保持されます。

## Advanced -&gt; Software Revision メニュー

- ソフトウェアの情報を表示する  
現在のソフトウェア情報を表示できます。

# SKP 500 G4 の使用

## SKP 500 G4 各部の名称



- 1 ディスプレイパネル
- 2 ▲UP ボタン
- 3 操作とバッテリーインジケーター、赤色 LED
  - ・点灯 = 電源 ON
  - ・点滅 = 低バッテリー
- 4 ON/OFF ボタン
  - ・電源のオン・オフを行います
  - ・ESC (終了) 機能
- 5 ▼DOWN ボタン
- 6 MUTE スイッチ
- 7 SET ボタン
- 8 赤外線インターフェイス

## SKP 500 G4 電源のオン／オフ

SKP 500 G4 の電源をオンにするには、

- ▷ ゼンハイザーのロゴがディスプレイに表示されるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。



SKP 500 G4 の電源をオフにするには、

- ▷ ディスプレイが消えるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。

## プラグオン送信機の AF ミュート

オーディオ信号のミュートは、**MUTE** スイッチで行います。その際は、**MUTE** スイッチ機能を **AF ON/OFF** に設定してください。詳細は、「Advanced -> Mute Mode メニュー」をご参照ください。



- ▷ **MUTE** スイッチを **MUTE** の位置にスライドさせます。  
オーディオ信号がミュートされました。MUTE メッセージがディスプレイに表示されます。



## プラグオン送信機の RF ミュート

RF 信号は以下の 2 通りの方法で無効にできます。

### ① RF 信号を MUTE スイッチで無効にする

RF 信号は、MUTE スイッチで無効にできます。

その際は、MUTE スイッチ機能を AF ON/OFF に設定してください。これについては「Advanced -> Mute Mode メニュー」をご参照ください。



▷ **MUTE** スイッチを MUTE の位置にスライドさせます。

RF 信号が無効になりました。MUTE メッセージが画面に表示され、アンテナアイコンが表示されなくなります。



## ② RF 信号を ON/OFF スイッチで無効にする

- ▷ **ON/OFF** ボタンを短く押します。  
RF Mute On? と表示されます。
- ▷ **SET** ボタンを押します。

RF 信号が無効になりました。MUTE メッセージが画面に表示され、アンテナアイコンが表示されなくなります。

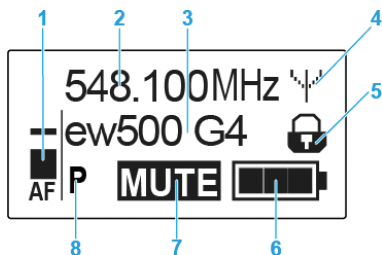


RF 信号を有効にするには、

- ▷ **ON/OFF** ボタンを短く押します。  
RF Mute Off? と表示されます。
- ▷ **SET** ボタンを押します。  
アンテナアイコンが再び表示されます。

## ディスプレイ概要

送信機のディスプレイでは次の情報を見ることができます。



- 1 AF オーディオレベル (音声)
  - ・ オーディオレベルをピーク保持機能で表示
- 2 周波数
  - ・ 現在の送信周波数です
- 3 名前
  - ・ 現在設定されている名前を表示
- 4 アンテナアイコン
  - ・ アンテナアイコンが表示されている時は RF 信号 (電波) が伝送されている状態です
- 5 ロックモードアイコン
  - ・ Auto Lock が有効になっている時に表示されます。
- 6 バッテリー残量
- 7 MUTE 機能
  - ・ “MUTE” の表示がある時は、オーディオ信号をミュートしている状態です。
- 8 パイロットトーン
  - ・ P マークが表示されている時はパイロットトーンが有効の状態です

標準画面を選択します

▷ ▲UP または ▼DOWN ボタンを押して標準画面を選択します。

周波数 / 名前 の標準画面



チャンネル / 周波数 の標準画面



名前 / チャンネル の標準画面



## SKP 500 G4 操作方法

### メニューの移動

メニューを開くには、

- ▷ **SET** ボタンを押します。

操作メニューが送信機のディスプレイパネルに表示されます。

メニューを開くには、

- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押して各メニュー間を移動します。
- ▷ **SET** ボタンを押して選択したメニューを開きます。

### メニューの変更

メニューを開いた後次の変更ができます。

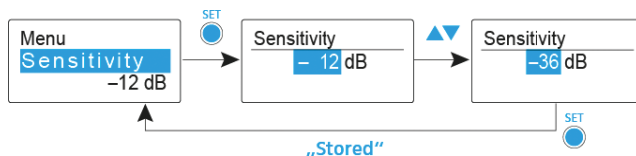
- ▷ 表示された値を設定するには、**▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押します。
- ▷ 設定を保存するには、**SET** ボタンを押します。
- ▷ 設定を保存せずにそのメニューを終了するには、ボタンを押します。

### メニュー概要

このメニューでは、以下の設定と情報の表示が行えます。

### Sensitivity メニュー

- 入力感度 - **AF** オーディオレベルの調整

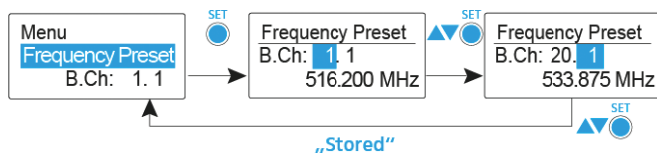


**設定範囲** : 0 dB ~ -48 dB まで 6 dB 刻みで変更可能。

プラグオントランスミッターがミュートされると、**AF** オーディオレベルも表示されず。

## Frequency Preset メニュー

- 周波数バンクとチャンネルのマニュアル選択



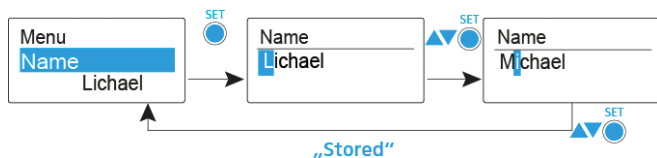
**i** Frequency Preset メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

マルチチャンネルシステムを作る際には以下の点にご注意ください。

Sennheiser オリジナル周波数プランでは最大 8 波での運用が可能です。（環境により変動）他の周波数プランでは相互変調が発生し運用が困難になりますので、プランをご確認の上、ご使用ください。

## Name メニュー

- 名前を入力



**Name** メニューでは、ボディバック型送信機に好きな名前を入力できます。

この名前は、**周波数 / 名前**および**名前 / チャンネル**の標準画面に表示されます。

名前は最大で 8 文字です。

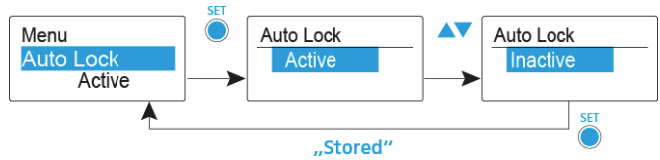
- ウムラウトのついた文字は使えません。
- 0 ~ 9 の数字が使えます
- 特殊な文字やスペースが使えます

以下のようにして名前を入力してください。

- ▷ ▲ **UP** または ▼ **DOWN** ボタンを押して文字を選択します。
- ▷ **SET** ボタンを押して次の文字の入力に移るか、入力が完了したら名前を保存します。

## Auto Lock メニュー

- Auto Lock のオン・オフ切り替え

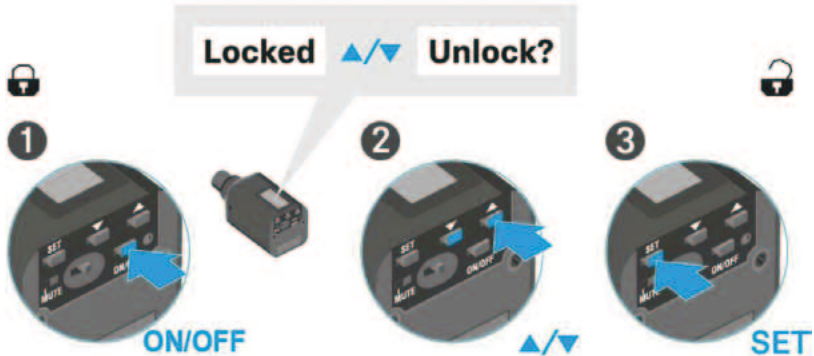


Auto Lock 機能は、ワイヤレスマイクのスイッチを意図せず切るのを防ぐほか、送信機の設定を意図せず切り替えるのを防ぎます。現状の標準画面では、ロックアイコンは Auto Lock 機能がオンになっているかどうかを示します。

Auto Lock を有効にすると、操作するためにロックの一時解除をする必要があります。

ロックを一時解除するには：

- ▷ SET ボタンを押します。  
Locked がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ ▲ UP または ▼ DOWN ボタンを押します。  
Unlock? がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ SET ボタンを押します。  
これでロックは一時的に解除されます。



操作メニューでは、

>> 一時ロック解除後、ただちにロックされることはありませんので操作メニューで操作が可能です。

標準画面のいずれかが表示されているときは、

>> 一時ロック解除後、約 10 秒で再ロックされます。

Auto Lock 機能の作動中は、ロックモードアイコンが点灯します。

## Advanced -> Tune メニュー

- 送信周波数と周波数バンクの設定

ボディバック型送信機をシステムバンクとして設定した場合、**Tune** メニューを呼び出すと周波数バンク **U** のチャンネル **1** は自動で設定されます。メッセージ **U.1** が画面に短時間表示されます。工場出荷時設定では、周波数バンク **U** のチャンネルはどの送信周波数にも割り当てられていません。

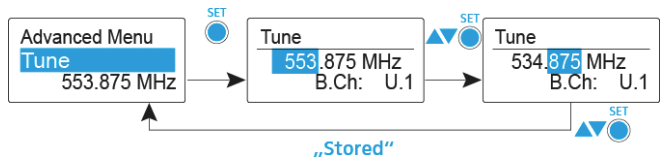
**Tune** メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

現在のチャンネルの送信周波数を設定するか、周波数バンク **U** でチャンネルを選択してこのチャンネルの送信周波数を **Tune** メニューで設定できます。

現在のチャンネルの送信周波数は以下のように設定します。

- ▷ **Advanced** メニューから、**Tune** メニューを開きます。

周波数選択が表示されます。



- ▷ 希望の周波数を設定します。

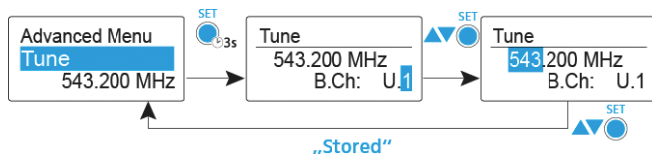
- ▷ **SET** ボタンを押します。

設定が保存されます。操作メニューに戻ります。



チャンネルの選択と周波数の割り当てでは、次の手順で行います。

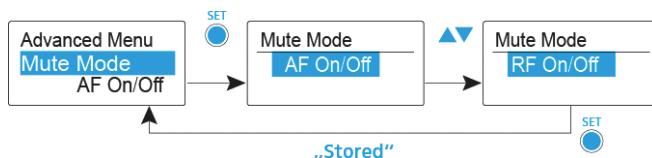
- ▷ **Advanced** メニューで周波数バンク選択が表示されるまで **SET** ボタンを押し続け、**Tune** メニューを開きます。



- ▷ 希望のチャンネルを設定します。
- ▷ **SET** ボタンを押します。  
周波数選択が表示されます。
- ▷ 周波数を設定します。

#### Advanced -> Mute Mode メニュー

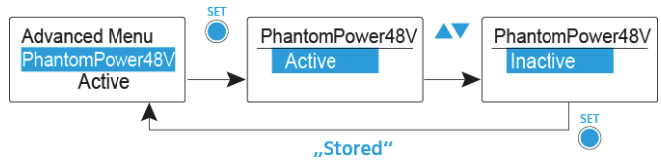
- **MUTE** スイッチの設定



モード	機能
AF On/Off	MUTE の位置になっていると、オーディオ信号がミュートされます。
RF On/Off	RF 信号がミュートされ、アンテナアイコンが表示されなくなります。
Disabled (無効)	機能しません

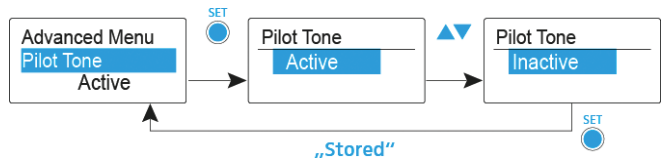
### Advanced -> Phantom Power 48 V メニュー

- ・ ファンタム電源を有効にする



### Advanced -> Pilot Tone メニュー

- ・ パイロットトーンを有効または無効にする



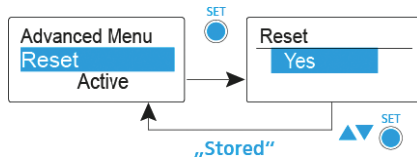
本製品のパイロットトーンはゼンハイザー固有のトーン信号を使用しています。パイロットトーンを ON にすると受信機はトーン信号を持つ送信機以外の電波を受け付けません。他のデバイスによるノイズ発生を防ぐことができます。

### Advanced -> LCD Contrast メニュー

- ・ ディスプレイパネルのコントラストを調整する  
ディスプレイのコントラストを 16 段階から選択できます。

## Advanced -&gt; Reset メニュー

- プラグオントランスミッターのリセット



プラグオントランスミッターをリセットすると、パイロットトーンと U 周波数バンクで選択された設定以外は保持されません。

## Advanced -&gt; Software Revision メニュー

- ソフトウェアの情報を表示する  
現在のソフトウェア情報を表示できます。

## プリセットバンク周波数一覧

ゼンハイザーのウェブサイト上ダウンロードページからも周波数プリセットバンク一覧表をダウンロードいただけます。検索バーに ew G4 を入力して検索すると、周波数表が表示されます。

<https://www.sennheiser.co.jp/sen.user.DownloadList.html>

# evolution wireless G4 プリセット周波数データベース

Channel		Bank 1	
1	806.125	B11	B11

周波数  
B型チャネル呼称

Channel	Bank 1	Bank 2	Bank 3	Bank 4	Bank 5	Bank 6	Bank 7	Bank 8	Bank 9	Bank 10										
1	806.125	B11	806.375	B12	806.500	B22	806.125	B11	806.250	B21	806.625	B31	806.125	B11	806.125	B11	806.125	B11	806.125	B11
2	806.875	B32	806.750	B41	807.000	B23	806.500	B22	806.625	B31	806.625	B31	807.125	B13	806.750	B41	806.750	B41	807.250	B61
3	807.375	B33	807.250	B61	807.750	B14	807.000	B23	807.125	B13	807.625	B51	807.875	B24	807.250	B61	808.000	B43	808.250	B34
4	807.750	B14	807.625	B51	808.375	B53	807.750	B14	807.875	B24	808.000	B43	808.500	B25	808.000	B43	808.375	B53	808.625	B35
5	808.375	B53	808.250	B34	808.875	B26	808.250	B34	808.375	B53	808.750	B54	809.000	B15	808.625	B35	809.125	B44	809.125	B44
6	808.750	B54	808.625	B35	809.250	B36	808.625	B35	808.750	B54	809.250	B36	809.375	B45	809.125	B44	809.500	B16	809.500	B16
7	809.250	B36	809.125	B44	809.250	B36	809.250	B36	809.375	B45	809.625	B55	809.500	B16						
8	809.625	B55	809.500	B16	809.625	B55	809.625	B55	809.750	B46										
9																				
10																				
11																				
12																				

Channel	Bank 11	Bank 12	Bank 13	Bank 14	Bank 15	Bank 16	Bank 17	Bank 18	Bank 19	Bank 20										
1	806.500	B22	806.125	B11	806.500	B22	806.125	B11	806.375	B12	806.250	B21	806.125	B11	806.250	B21	806.125	B11	806.250	B21
2	807.000	B23	806.500	B22	807.000	B23	806.500	B22	807.500	B42	806.500	B22	807.000	B23	806.500	B22	807.500	B42	806.750	B41
3	807.750	B14	807.000	B23	807.500	B42	807.750	B14	808.000	B23	807.000	B23	807.125	B13	807.750	B14	807.000	B23	807.125	B13
4	808.375	B53	807.750	B14	807.875	B24	808.625	B35	807.750	B14	807.750	B14	807.875	B24	808.125	B52	807.750	B14	807.750	B14
5	808.875	B26	808.250	B34	808.625	B35	809.625	B55	808.250	B34	808.750	B54	808.875	B26	808.875	B26	808.750	B54	808.500	B25
6	809.250	B36	808.625	B35	809.125	B44	809.625	B35	809.125	B44	809.125	B44	809.250	B36	809.375	B45	809.125	B44	808.875	B26
7	809.250	B36	809.250	B36	809.500	B16	809.250	B36	809.625	B55	809.625	B55	809.750	B46	809.625	B55	809.375	B45	809.375	B45
8																				
9																				
10																				
11																				
12																				

# 仕様

## EK 500 G4

### RF 特性

変調	広域帯 FM
受信周波数域	806.125 ~ 809.750 MHz
受信周波数	125 kHz ステップで調整可能  20 周波数バンク。1 つあたり、工場出荷時に設定されたチャンネルを最大 8CH 割り当て相互変調なし  1 周波数バンク、最大 12 のユーザー設定チャンネル
スイッチング帯域幅	3.625MHz (JB)
基準 / ピーク偏差	± 24 kHz / ± 40 kHz
受信方式	アダプティブダイバーシティ方式
感度 (HDX、ピーク偏差)	52dBA rms S/N 時、1.6 $\mu$ V 未満
隣接チャンネルの選択度	65 dB 以上
相互変調減衰	65 dB 以上
ブロッキング	70 dB 以上
スケルチ	5 dB $\mu$ V ~ 25 dB $\mu$ V (2db ステップ)
パイロットトーンスケルチ	スイッチオフ可能

## AF 特性

コンバンダーシステム	ゼンハイザー HDX
信号雑音比 (1 mV、ピーク偏差)	ライン : $\geq 110$ dBA ヘッドホン音量 : 約 90 dBA
全高調波ひずみ (THD)	$\leq 0.9\%$
AF 出力電圧 (ピーク偏差で、1 kHz AF)	3.5mm ジャック +17dBu(モノラル/ バランス)
オーディオ出力レベルの調整範囲	42 dB (6 dB ステップ)

## デバイス全体

使用温度範囲	$-10^{\circ}\text{C} \sim +55^{\circ}\text{C}$ ( $14^{\circ}\text{F} \sim 131^{\circ}\text{F}$ )
電源	2 ~ 1.5 V または BA 2015 バッテリーパック
定格電圧	3 V バッテリー / 2.4 V 充電式バッテリー
消費電力	定格電圧で通常 180 mA  送信機のスイッチがオフのとき、 25 $\mu\text{A}$ 以下
連続作動時間	一般的な使用環境で 8 時間
寸法	約 82 x 64 x 24 mm
重量 (バッテリー込み)	約 130 g

## SKM 500 G4

### RF 特性

変調	広域帯 FM
送信周波数域	806.125 ~ 809.750 MHz
送信周波数	125 kHz ステップで調整可能  20 周波数バンク。1 つあたり、工場出荷時に設定されたチャンネルを最大 8CH 割り当て 相互変調なし  1 周波数バンク、最大 12 のユーザー設定チャンネル
スイッチング帯域幅	3.625MHz (JB)
基準 / ピーク偏差	± 24 kHz / ± 40 kHz
周波数安定性	≤ ± 15 ppm
RF 出力	10 mW
パイロットトーンスケルチ	スイッチオフ可能



## AF 特性

コンバンダーシステム	ゼンハイザー HDX
AF 周波数応答	80 ~ 18,000 Hz
信号雑音比 (1 mV、ピーク偏差)	≥ 115 dBA
全高調波ひずみ (THD)	≤ 0.9 %
入力感度調整範囲	3 dB ステップ 48 dB

## デバイス全体

使用温度範囲	-10 °C ~ +55 °C (14 °F ~ 131 °F)
電源	1.5 V の単三乾電池を 2 個、 または BA 2015 バッテリーパック
定格電圧	3 V バッテリー / 2.4 V 充電式バッテリー
消費電力	
(公称電圧、送信機のスイッチが オフのとき、	通常 180 mA ≤ 25 μA
連続作動時間	一般的な使用環境で 8 時間
寸法	約 Ø 50 x 265 mm
重量 (バッテリー込み)	約 390 g

## SK 500 G4

### RF 特性

変調	広域帯 FM
送信周波数域	806.125 ~ 809.750 MHz
送信周波数	125 kHz ステップで調整可能  20 周波数バンク。1 つあたり、工場出荷時に設定されたチャンネルを最大 8CH 割り当て 相互変調なし  1 周波数バンク、最大 12 のユーザー設定チャンネル
スイッチング帯域幅	3.625MHz (JB)
基準 / ピーク偏差	± 24 kHz / ± 40 kHz
周波数安定性	≤ ± 15 ppm
RF 出力	10 mW
パイロットトーンスケルチ	スイッチオフ可能

## AF 特性

コンバンダーシステム	ゼンハイザー HDX
AF 周波数応答	マイクロホン：80 ~ 18,000 Hz ライン：25 ~ 18,000 Hz
信号雑音比 (1 mV、ピーク偏差)	≥ 115 dBA
全高調波ひずみ (THD)	≤ 0.9 %
最大入力電圧 マイクロホン/ ライン	3 V <sub>eff</sub>
入カインピーダンス マイクロホン/ライン	40 k Ω、アンバランス / 1 M Ω
入力キャパシタンス	切替可能
入力感度調整範囲	3 dB ステップ 60 dB

## デバイス全体

使用温度範囲	-10 °C ~ +55 °C (14 °F ~ 131 °F)
電源	2 ~ 1.5 V 1.5 V の単三乾電池 2 個、 または BA 2015 バッテリーパック
公称電圧	3 V バッテリー 2.4 V 充電式バッテリー
消費電力	
(公称電圧、 送信機のスイッチがオフのとき、	通常 180 mA ≤ 25 μA)
連続作動時間	一般的な使用環境で 8 時間
寸法	約 82 x 64 x 24 mm
重量 (バッテリー込み)	約 160 g

## SKP 500 G4

### RF 特性

変調	広域帯 FM
送信周波数域	806.125 ~ 809.750 MHz
送信周波数	125 kHz ステップで調整可能  20 周波数バンク。1 つあたり、工場出荷時に設定されたチャンネルを最大 8CH 割り当て 相互変調なし  1 周波数バンク、最大 12 のユーザー設定チャンネル
スイッチング帯域幅	3.625MHz (JB)
基準 / ピーク偏差	± 24 kHz / ± 40 kHz
周波数安定性	≤ ± 15 ppm
RF 出力	10 mW
パイロットトーンスケルチ	スイッチオフ可能

## AF 特性

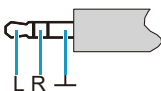
コンバンダーシステム	ゼンハイザー HDX
AF 周波数応答	80 ~ 18,000 Hz
信号雑音比 (1 mV、ピーク偏差)	≥ 120 dBA
全高調波ひずみ (THD)	≤ 0.9 %
入力電圧	6 V <sub>eff</sub>
入力インピーダンス	68 k Ω、アンバランス
入力キャパシタンス	切替可能
入力感度調整範囲	6 dB ステップ 48 dB

## デバイス全体

使用温度範囲	-10 ° C ~ +55 ° C (14 ° F ~ 131 ° F)
電源	1.5 V の単三乾電池を 2 個、 または BA 2015 バッテリーパック
定格電圧	3 V バッテリー / 2.4 V 充電式バッテリー
消費電力	定格電圧で通常 180 mA  送信機のスイッチがオフのとき、 25 μ A 以下
連続作動時間	一般的な使用環境で 8 時間
寸法	約 105 x 43 x 43 mm
重量 (バッテリー込み)	約 195 g

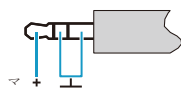
# ピン割り当て

## 3.5 mm ステレオジャックプラグ



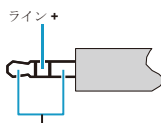
- ヘッドホン、イヤホンケーブル用プラグ、IE 4 等
- 接続先：
  - EK IEM G4
  - EK 500 G4

## 3.5 mm マイクジャックプラグ



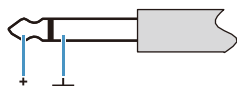
- ラベリアおよびヘッドセットマイク用プラグ、ME 2 等
- 接続先：
  - SK 100 G4
  - SK 300 G4
  - SK 500 G4

## 3.5 mm ラインジャックプラグ



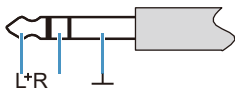
- 接続ケーブル、楽器用ケーブル用プラグ、Ci 1-N
- 接続先：
  - SK 100 G4
  - SK 300 G4
  - SK 500 G4

## 6.3 mm モノジャックプラグ、アンバランス



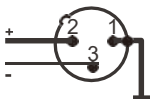
- 接続先：
  - EM 100 G4 オーディオアウト
  - EM 300-500 G4 オーディオアウト

## 6.3 mm ヘッドホンジャック用ステレオジャックプラグ



- 接続先：
  - EM 100 G4 ヘッドホン入力
  - EM 300-500 G4 ヘッドホン入力

## XLR-3 プラグ、バランス



## 電源用中空ジャックプラグ



## クリーニングとメンテナンス

evolution wireless G4 シリーズ製品のクリーニングとメンテナンス時には次の点にご注意ください。

### 注意

製品に液体がかかると電子部品が故障するおそれがあります。

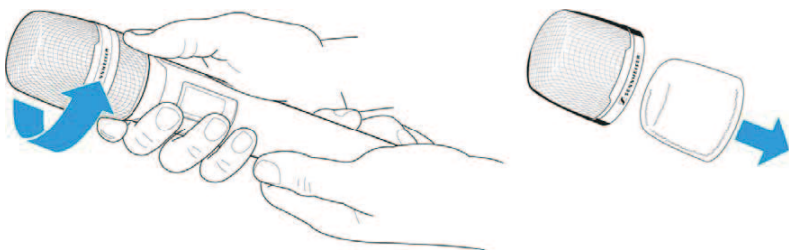
製品のハウジングに液体が入ると短絡を招き電子部品が故障するおそれがあります。

- ▷ 液状のものは製品の近くに置かないでください。
- ▷ 溶剤や洗剤は使用しないでください。

- ▷ クリーニング開始前には製品を電源から外し、充電式バッテリーやバッテリーも外してください。
- ▷ クリーニングには柔らかく乾いた布のみ使用してください。
- ▷ 次の製品には下記にある特別のクリーニング指示に従ってください。

### マイクモジュールのサウンド入力バスケットのクリーニング

- ▷ 上のサウンド入力バスケットを反時計回りにまわしてマイクモジュールから外します。
- ▷ 内部緩衝材を取り除きます。



サウンド入力バスケットのクリーニングには2つの方法があります：

- 湿らせた布を用いて、サウンド入力バスケットを内側と外側からクリーニングします。
  - ブラシを使い、綺麗な水で拭いてください。
    - ▷ 必要であれば、内部緩衝材を弱い洗剤で拭くか、交換してください。
    - ▷ 上のサウンド入力バスケットと内部緩衝材を乾かします。
    - ▷ 内部緩衝材をもとに戻します。
    - ▷ サウンド入力バスケットをマイクモジュールに戻します。
- マイクモジュールのコンタクトは時々クリーニングしてください。
- ▷ マイクモジュールのコンタクトは柔らかな乾いた布で拭いてください。





ゼンハイザージャパン株式会社  
東京都港区南青山 1-1-1 (新青山ビル)  
[www.sennheiser.com](http://www.sennheiser.com)

